



# 看護職員の負担軽減および 処遇の改善計画書

## 【令和6年4月現在の看護職員数】

看護師 38名 パート含む	准看護師 10名 パート含む	看護補助者・事務的補助者 14名 パート含む
------------------	-------------------	---------------------------

## 【目標】

患者さんの療養環境と看護サービスの質向上にむけて  
職員の働きやすい環境づくりを推進する

## 1 看護職員の負担軽減および処遇改善に関する体制

### 1) 看護職員の負担軽減および処遇の改善に関する責任者

院長：武藤 俊治

看護部長：松本君恵

### 2) 看護職員の勤務時間管理

①連続勤務5日以内

②勤務状況の把握：有給休暇取得率 時間外業務の把握

③夜勤勤務：7回/月以内 夜勤明けの翌日は原則として休み

### 3) 看護職員の負担軽減および処遇の改善に資する計画

計画の策定・年に1回の見直しと職員への周知（院内掲示）

## 2 看護職員の負担軽減および処遇改善に関する具体的な取り組み内容

### 1) 看護職員と多職種との業務分担

### 2) 各部署にクラークの配置、看護補助者の配置

### 3) 妊娠、子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

### 4) シフトに対する配慮



## 看護職員の負担軽減および処遇の改善に資する具体的な計画

項目	達成年次	令和5年度の取り組み内容	
<b>1. 看護職員と多職種との業務分担</b>  <b>3ヶ月ごとに部課長会議で取り組み状況を確認(8月、11月、2月)</b>	薬剤師	継続	・入院患者の定期処方を配薬カートに配薬する
		継続	・退院時処方服薬指導
		2024年	・定期処方薬の継続確認(医師との確認)
	病棟クラーク	継続	・医師への診断書依頼
		継続	・入院オリエンテーション、入院手続き
		継続	・病院日誌入力
		継続	・退院時書類の確認(宛先や患者の氏名間違いの確認)
		継続	・承諾書や同意書のスキャン・保存
	外来クラーク	継続	・病院日誌入力
			・訪問診療予定表や書類の作成
			・診察受付表の受付、患者呼び込み
			・各診療科や検査の患者誘導
	リハビリテーション科	継続	・病棟⇄リハビリ室の送迎
		継続	・患者の体調不良等の医師・看護師への報告
		2024年	・重症患者移乗の業務軽減(病室でのリハビリ後車椅子乗車等の支援)
	検査課	継続	・各病棟の検体を取りに行く
栄養課	継続	・食事摂取状況、患者の嗜好の確認	
社会福祉士	継続	・患者家族との連絡、家族の想いや不安の確認	
委託業者	継続	・病室、病室内のトイレ、食堂、洗面所、看護室の清掃	
	継続	・退院後のシーツ交換、環境整備	
<b>2. 各部署にクラークの配置、看護補助者の配置</b>	外来にクラーク配置、手術室に看護補助者配置	継続	・東外来にクラークを配置し、上記分担を行い業務軽減
		2024年	・手術室に看護補助者を配置し、機械等の洗浄を行い業務分担する
<b>3. 妊娠、子育て中、介護中の看護職員に対する配慮</b>	多様な勤務体制の活用を推進	継続	・夜勤の削減又は免除
		継続	・休日出勤の制限
	病児、病後児保育の活用推進	継続	・保育料の一部負担を実施
	所定労総時間の短縮	継続	・育児・介護時短制度を活用し労働時間の制限を実施
<b>4. シフトに対する配慮</b>	夜勤専従の増員	2024年	・夜勤専従看護師を増員し、1ヶ月に7回を上限として夜勤回数を守る
	個人の希望に応じた勤務表作成	継続	・常勤看護師を増員し、個別の希望に応じやすい環境と有給休暇取得の推進を行う(5人の増員)
	看護補助者の夜勤配置	2024年	・手術日に遅番勤務を行い、業務の充実を図る
		2025年	・夜勤業務の開始